



**Daiwa Lease**<sup>®</sup>  
大和ハウスグループ

2021年8月26日

報道関係各位

大和リース株式会社  
代表取締役社長 北哲弥

■再生可能エネルギー活用による脱炭素社会の実現に貢献

**ソーラーパネル搭載型立体駐車場 発売**

大和リース株式会社（本社：大阪市、社長：北 哲弥）は、最上階部分にソーラーパネルを標準搭載した自家発電型の立体駐車場を開発し、8月30日（月）より販売を開始します。駐車場内の設備電源に再生可能エネルギーを活用する環境に配慮した商品で、脱炭素社会の実現に貢献できます。外壁に壁面緑化、木材を採用することで、周辺環境と調和した外観デザインにすることも可能です。

■商品特徴

①再生可能エネルギーの活用で二酸化炭素排出量を削減

ソーラーパネルの搭載により、駐車場内での使用電力を自家発電で充足します。また、余剰電力が発生する場合は、隣接自己施設での使用やEV充電などに使用することが可能で、二酸化炭素排出量の削減に貢献します。

②災害対策やBCP機能強化に対応

災害などにより停電した場合に緊急時の電源として使用が可能のため、地域の一時避難施設としての利用やBCP（事業継続計画）の機能強化につながります。

③PPAモデルやグリーン電力の購入が可能

PPA（Power Purchase Agreement／電力販売契約）モデル<sup>※1</sup>により初期投資を必要としない再生可能エネルギーの利用や、夜間電力は再生可能エネルギーによって発電したグリーン電力を購入し利用することも可能で、大和ハウスグループによる環境に配慮した電力供給の提案ができます。<sup>※2</sup>



「ソーラーパネル搭載型立体駐車場」完成予想パース ※イメージであり、実際とは異なる場合があります。

※1.PPA モデル:施設所有者が提供する敷地や屋根などのスペースを利用して、太陽光発電設備の所有・管理を行う会社(PPA事業者)がソーラーパネルを設置。設置したソーラーパネルで発電された電力を、その施設の電力使用者へ有償提供する仕組みです。

※2.設置条件により対応できない場合があります。

## ■商品化の背景

近年、地球温暖化対策として「カーボンニュートラル」への取り組みが広がっており、日本政府は「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」との目標を定めました。当社はその目標に賛同し、都市の貴重な平面の立体駐車場屋上部分を利用することで、自動車から発生する温室効果ガス相当量の削減に貢献できる当商品を開発し、脱炭素社会の実現に取り組みます。

## ■商品概要

発売日	2021年8月30日(月)
販売地域	全国
販売目標	10件/年、50億円/年
構造	鉄骨ラーメン構造
モデルプラン	立体駐車場階数: 5層5段 車室数 : 297台 延床面積 : 8,986.87㎡ (建築面積:2,057.20㎡) 年間予想発電電力量: 225,000kWh/年 (最上階に太陽光発電を設置) 主な設備 : エレベーター、LED照明、コンセント、消火設備 販売価格 : 78,000円/㎡~※3 ※3.参考価格のため設置場所の状況により別途費用が発生することがあります。
ホームページ	<a href="https://www.daiwalease.co.jp/proposal/pk_solar.html">https://www.daiwalease.co.jp/proposal/pk_solar.html</a>

## ■実績について

当社は販売から施工・メンテナンス・運営に至るまで、ワンストップでのサービスを提供しています。これまで「Dパーキングレガートスクエア」や「DREAM Solar 和歌山市」など全国でさまざまな立体駐車場事業、太陽光発電事業の実績があります。



「Dパーキングレガートスクエア」(富山県)



「DREAM Solar 和歌山市」(和歌山県)

当社は地球温暖化防止対策として、施設の施工、改修、解体、運用などあらゆる場面で二酸化炭素排出量の削減にも取り組んでいます。

### ●本リリースに関するお問合せ

大和リース株式会社 広報宣伝部 tel:06-6942-8068

### ●本商品・販売に関するお問合せ

大和リース株式会社 リーシング ソリューション事業部 tel:06-6942-8072